

名古屋市地域強靱化計画（仮称）骨子案

第1章 計画の策定趣旨、位置づけ

1. 計画の策定趣旨

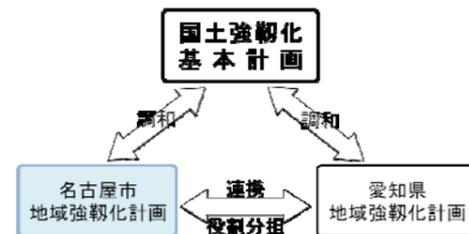
○国全体の国土強靱化政策との調和を図りながら、国や愛知県、民間事業者などの関係者相互の連携のもと、名古屋市における国土強靱化に関する施策を総合的、計画的に推進する指針として策定

2. 名古屋市強靱化の意義

○大規模自然災害から市民の安全を守り、本市の社会経済活動を維持
○世界トップクラス産業競争力を有する大都市圏の持続的成長を促進
○首都圏の被災時にバックアップ機能を担うなど国全体の強靱化に寄与

3. 計画の位置づけ

○国土強靱化基本法（第13条）に基づく
国土強靱化地域計画
○国土強靱化基本計画との調和を保ちつつ
（第14条）、愛知県強靱化計画との連携
・役割分担を考慮



<参考>国土強靱化基本計画で示された基本的な方針（要約）

- ①強靱化を損なう本質的原因を吟味した取組推進
- ②長期的視点を持った取組推進
- ③地域間連携の強化、東京一極集中から「自律・分散・協調」型国土への転換
- ④経済社会システムの潜在力、抵抗力、適応力の変化
- ⑤適正な制度、規制のあり方を見据えた取組推進
- ⑥ハード・ソフト対策の適切な組み合わせ
- ⑦国、地方自治体、事業者、住民の連携、役割分担
- ⑧平時の有効活用
- ⑨施策の重点化の推進
- ⑩既存の社会資本の有効活用
- ⑪民間資金の積極的活用
- ⑫施設等の効率的、効果的な維持管理
- ⑬土地の合理的利用の促進
- ⑭研究開発の推進と成果の普及
- ⑮コミュニティ機能の向上、強靱化の担い手が活動できる環境整備
- ⑯女性、高齢者、子ども、障害者、外国人等への配慮
- ⑰自然との共生、環境との調和、景観の維持への配慮

第2章 名古屋市強靱化の基本的考え方

1. 名古屋市の地域特性

(1) 地形とまちの現状

○東部の丘陵地／中央部の洪積台地／北・西・南部の沖積平野
○基盤整備の状況（戦災復興などの区画整理事業、一部で残る木造住宅密集地域）
○土地利用の現況（都心部の商業・業務集積、臨海部の工業・物流集積など）

(2) 名古屋の強みと課題

○東西交通ネットワークの要衝／貿易額日本一の名古屋港
○ものづくり産業を支える多様な都市機能集積
○リニア開業に向けた名古屋駅の大改造
○昼間人口の集積と将来的な人口減少、高齢化や社会資本の老朽化 など

2. 想定する大規模自然災害

○南海トラフ巨大地震に伴う揺れ、液状化、津波・浸水など

3. 名古屋市強靱化の基本目標

- I. 人命の保護が最大限図られること
- II. 地域及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること
- III. 市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
- IV. 迅速な復旧復興

4. 名古屋市強靱化を進める上での留意事項

○短期～長期の時間管理概念を持った計画的な取組
○他の自治体、国、関連事業者、地域団体等との連携及び役割分担
○国土の枢軸における圏域の中心都市として果たすべき役割
○基礎自治体として考慮すべき市民生活や地域コミュニティ上の課題

第3章 名古屋市強靱化の現状と課題（脆弱性評価）

1. 事前に備えるべき目標と起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）
2. 施策分野（個別施策分野及び横断的分野）の設定
3. 脆弱性評価の実施手順
4. 脆弱性評価の結果

資料 7

第4章 推進すべき施策の方針

※検討中

○リスクシナリオ及び施策分野ごとに長期的な取り組みを含む施策の方針を記載
○各施策に係る主な指標や事業を掲載（短期的な目標や計画）

第5章 計画の推進と見直し

※検討中

○施策の重点化や進捗管理（PDCA）のあり方
○国の基本計画や市の総合計画の動向等にあわせて適宜計画を見直し